

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	()
目標年度	令和 14年度
市町村名 (市町村コード)	甲賀市 252093
地域名 (地域内農業集落名)	土山町大野 末田 (末田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	9.32 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	9.32 ha
② 田の面積	9.32 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	- ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

農業者の高齢化及び減少がすすむ一方で、集落の若手のなかで規模拡大を目指す農業者が出てきている。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

その若手の新しい芽を、今後の地域の担い手として育成支援していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸付を進め、地域担い手への農地集約により営農の効率化および安定化を図る。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	55	%	将来の目標とする集積率
			55 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
特定の担い手に集積が進む可能性があり、本人も家族を含めて準備を始めておられるので、地域・関係機関で応援する必要がある。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
今後も継続して地域内での話し合いを実施し、目標地図の見直しを行って、担い手への農地の集約化を行う。
(2)農地中間管理機構の活用方法
目標地図に沿った形で農地中間管理機構を農地の貸借を進める。
(3)基盤整備事業への取組
農地の区画整理・水利設備の改善等を行い、将来へむけて営農環境の改善を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
営農意欲の高い担い手を、地域及び関係機関が一体となって育成に取組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①獣害防止に向け、集落による獣害柵点検を定期的に行っているが、今後も継続して行う。
⑧中山間地域等直接支払に継続して取組み、農道・水利施設の保全に努める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稻	5.08 ha	ha	水稻	5.08 ha	ha	赤	
利用者		水稻	1.41 ha	ha	水稻	1.41 ha	ha	青	
利用者		水稻	1.09 ha	ha	水稻	1.09 ha	ha	黄	
利用者		水稻	1.74 ha	ha	水稻	1.74 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	4経営体		9.32 ha	0 ha		9.32 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			

6 目標地図(別添のとおり)